

「未来型園芸農業」への挑戦 —新コンソーシアム設立—

- 本県農業の担い手が高齢化等の影響で減少する中、産出額の約6割を占める園芸農業を更に発展させるためには、現在の従来型園芸農業から生産性・品質・環境負荷のあらゆる面で革新を追求した全国でも類を見ない「**未来型園芸農業**」への転換が不可欠。
- そのためには、今後整備される**園芸ADTECセンター**の最先端設備や、**産学官**が有する高度な技術・知見を活用し、研究の質とスピードを飛躍的に向上させることが必要。
- そこで、**未来型園芸農業（3つのチャレンジ）の実現**に向け、農林業総合試験場（R10からは園芸ADTECセンター）を司令塔とする「**ふくおか未来型園芸農業創出コンソーシアム**」を設立し、革新的プロジェクトに挑戦。
- まずは、主力であるイチゴの生産性向上と、次世代を担う人材育成に焦点を当てた**個別プロジェクト**を先行して始動。

3つのチャレンジ

① 超効率型・高付加価値生産モデルの確立

（AIやロボティクスを駆使し、生産工程の自動化や最適化を実現）

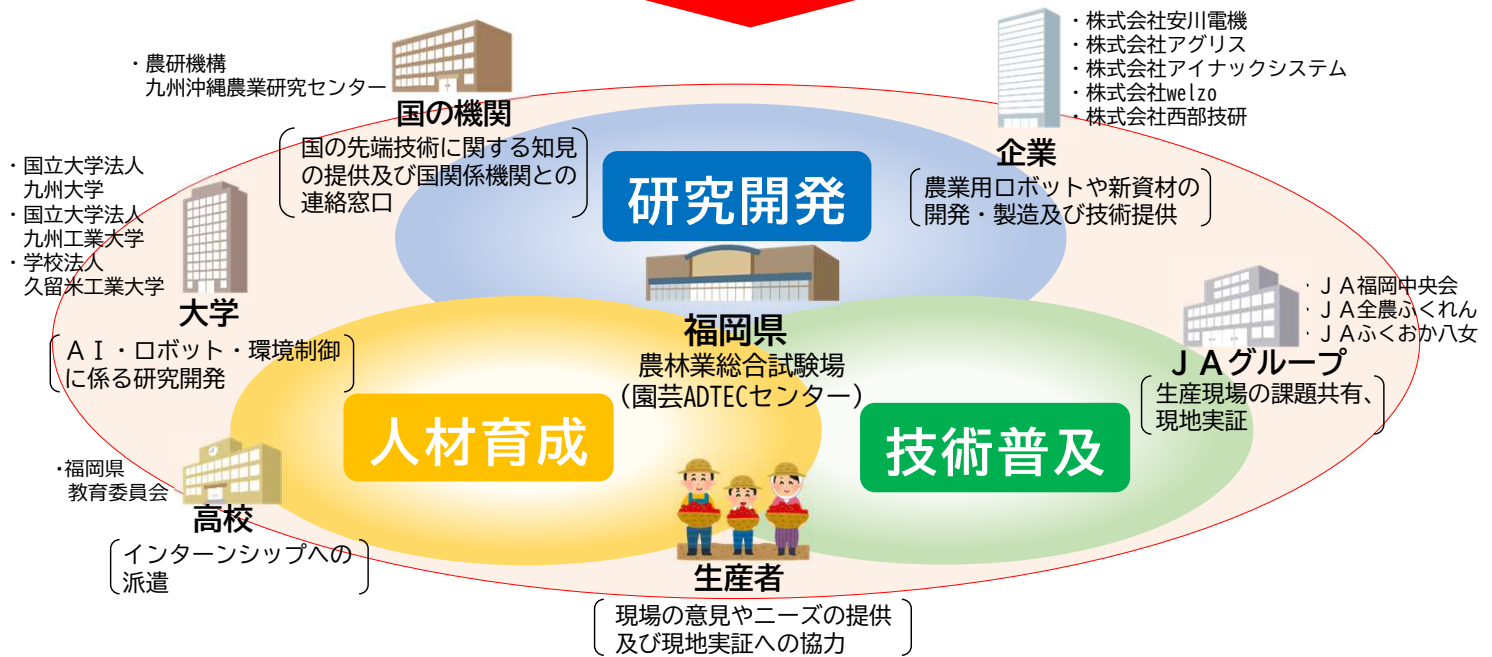
② 「ゼロカーボン農業」の構築

（クリーンエネルギーの導入と省エネ技術の活用により、環境負荷を最小限に抑制）

③ 世界に通用する園芸品種の開発

（スマート育種により、耐病性・収量性・食味などに優れた新品種を育成）

3つのチャレンジの実現に向け コンソーシアムを設立



【先行して実施する個別プロジェクト】

① イチゴ生産自動化プロジェクト

現場実装に向けた収穫ロボットと出荷調製ロボットの進化



イチゴの収穫・パック詰め工程の完全自動化

② イチゴ高設栽培収量向上プロジェクト

高設栽培における収量低下を防ぐ培土や技術の開発



高設栽培で土耕栽培並みの収量確保

③ 農業即戦力人材確保プロジェクト

インターンによる専門高校生のスキルアップ支援やリクルートの強化



専門高校生の農業分野への定着率向上